



## 横浜中華街とパシフィコ横浜が包括連携協定を締結します 「連携協定」調印式のご案内

日時:2022年2月1日(火) 10:00~10:30 (受付開始9:30~)

場所:パシフィコ横浜 ノース (神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-2)

拝啓、貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、横浜中華街発展会協同組合(理事長 高橋 伸昌)と、株式会社横浜国際平和会議場(代表取締役社長 額田 樹子)は、国内外からの誘客促進、観光・MICEの受入環境整備の推進、MICEの誘致・開催支援機能の充実において、相互の連携を強化し、横浜における観光・MICEの推進と、横浜都心臨海部の一層の活性化に資することを目的として、連携・協力に関する協定(以下「連携協定」という)を締結することとしました。

つきましては、連携協定の調印式を行いますので、ご案内いたします。調印式では、連携協力と新型コロナウイルス感染症退散のW祈願する「祈願獅子舞」が登場し、コロナに負けず力を合わせて地域を盛り上げていきたいという思いもお伝えしたいと思っています。

皆様にはご多忙中のところ誠に恐縮ではございますが、調印式の取材を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。 敬具

### 横浜中華街×パシフィコ横浜 包括連携協定調印式

- 日時: 2022年2月1日(火) 10:00~10:30 (受付開始 9:30)
- 場所: パシフィコ横浜 ノース1階 G1+2(神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-2)
- プログラム: ご挨拶  
連携協定と疫病退散「祈願獅子舞」  
調印式  
フォトセッション  
Q&A

※終了後、展示ホール2Fコンコースにて展示されている「横浜春節祭」オブジェをご案内申し上げます。

※実施につきましては、県が示すガイドラインに基づいた新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じております。ご理解ならびにご協力の程よろしくお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ

横浜中華街発展会協同組合 石河、入澤 045-662-1252 info@chinatown.or.jp  
株式会社横浜国際平和会議場 近藤 淳奈 045-221-2122 pr@pacifico.co.jp

## 包括連携協定の経緯

日本を代表する世界都市として発展し続ける横浜。その横浜の都心臨海部は、横浜経済を牽引するエリアであり、世界との玄関口になる場所です。ここには国内外から多くのお客様が集まる場所と機会があり、その方々に楽しんでいただける観光都市としての魅力も沢山多くあるにも関わらず、周遊/回遊をされる方は少なく、その場所での用事が終われば帰ってしまう方が多いという課題があります。

年間2000万人を超える観光客が訪れる横浜最大の観光地である横浜中華街と、日本最大級の国際会議場として国内外から多くのお客様が訪れるパシフィコ横浜との相互連携を強化し、地域経済と地域連携の活性化推進を達成していきたいと思っております。パシフィコ横浜を訪れるお客様が横浜中華街を満喫する観光特別パッケージの実施やイベントなどの協力、様々な地域課題の共有や地域住民及び地域活動との交流機会の創出等にも取り組んでまいります。また、PR活動なども協力し合って実施することで、発信力を増すと共に、生まれる相乗効果から好スパイラルが繋がっていくと期待しております。

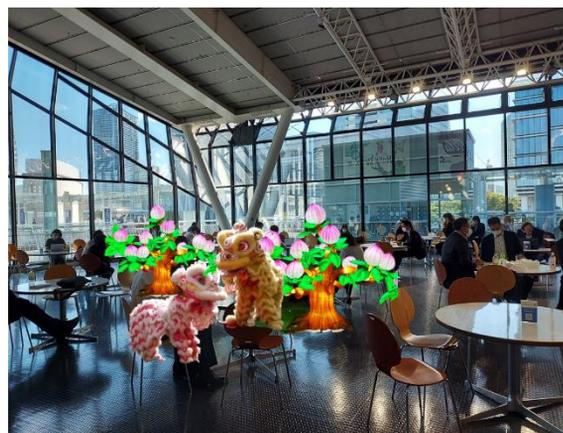
横浜都心臨海部はダイヤモンドプリンセス号での感染者発生などから、国内でも新型コロナウイルス感染症の影響を早く受けた地域です。その中でも、横浜中華街は中国ヘイトなどの差別や人権侵害被害、パシフィコ横浜は観光・MICEを牽引する存在として大きく期待された「パシフィコ横浜ノース」がオープン直後からコロナ禍のダメージを受けるなど、新型コロナの影響をより強く受けたところです。Withコロナ時代に入り、横浜における観光・MICEの推進と、横浜都心臨海部の一層の活性化に資することを目的とするともに、コロナ禍の中でも強く歩み、一日でも早い地域経済の回復と、連携による新たな可能性の開拓を目指します。

## 包括連携協定における取組

- (1) 国内外からの誘客促進に関すること。
- (2) 観光・MICEの受入環境整備の推進に関すること。
- (3) MICE誘致・開催支援機能の充実に関すること。
- (4) お客様の円滑な移動の支援、案内の充実に関すること。
- (5) 多文化に対応した受入環境整備の推進に関すること。
- (6) その他本協定の目的を達成するために必要なこと。

包括連携協定第一弾の取り組みとして、横浜中華街の春節を横浜の様々な場所でも楽しみながら回遊を促進する「横浜春節祭」と題した新たな試み(社会実験)に協力しています。

2月は観光閑散期でもあり、この取り組みが広がることで、冬の閑散期に新たな観光資源が生まれることを期待しています。



中華獅子と桃の木(蟠桃園) イメージ

<パシフィコ横浜 展示ホール 2Fコンコース>

展示期間:2022年2月1日(火)~15日(火)10:00~18:00

※「ランタンオブジェデジタルスタンプラリー」スタンプスポット

# 横浜中華街×パシフィコ横浜 「包括連携協定調印式」会場案内

日時:2022年2月1日(火) 10:00~10:30 (受付開始 9:30)

パシフィコ横浜 ノース1階 多目的ホール(G1+2)

(神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-2)

TEL 045-221-2155(パシフィコ横浜総合案内)





## 横浜中華街発展会協同組合とは <https://www.chinatown.or.jp/>

横浜中華街は、1859年の横浜新田居留地から中国人買弁(中国人商人や取引仲介者)や外国人外交官の雇い人が来住した事により、居留地の一角(現在の山下町)に買弁や貿易商が定住し始め、次第に関帝廟、中華会館、中華学校などが建てられていき、現在の原型となりました。500メートル四方のエリア内に10基の牌楼、媽祖廟や関帝廟、500店以上もの店舗があります。年間2000万人以上の来街者があり、横浜を代表する観光地として全国的に認知されています。また、日本最大級かつ東アジア最大級の中華街でもあります。華人のコミュニティーから発展し、来街者の多くが華人である世界のチャイナタウンと比較して、来街者のほとんどが日本人観光客というのも横浜中華街の特徴です。

横浜中華街発展会協同組合(通称:中華街発展会)は、1971年に設立された横浜中華街の発展のために活動する協同組合です。街で円滑に商業活動するためのルールづくり・催事やイベントの運営など、横浜中華街に発展に寄与する活動を行っています。中華街発展会は、主に横浜中華街内で活動する飲食店や各種店舗、事業者、企業、またはその他団体を中心に構成されており、2021年1月時点で389店舗が加盟しています。

中華街発展会が組合50周年を迎えるにあたり、2020年1月に次の10年に向けてのネクストブランドビジョン「リピーター溢れる街 横浜中華街～持続可能社会と経営を実現する横浜中華街～」を掲げ、地域を中心に連携を推進し、活性化に取り組んでいます。



## パシフィコ横浜とは <https://www.pacifico.co.jp/>

会議室、展示場、ホテルを1カ所に集約した「ALL IN ONE」をコンセプトに設計され、MICE開催に必要とされる全ての機能を備えた、国内最大級の複合MICE施設です。

2020年4月24日には、国内最大規模 約6,300㎡の多目的ホールと大中小42室の会議室からなる新MICE施設「パシフィコ横浜ノース」が加わりました。

ホテルの美しくユニークな外観は風をはらむ「帆」をイメージ、国立大ホールは「貝」、展示ホールは「波」、会議センターは「光」、そしてノースは波打ち際を意味する「汀(みぎわ)」をデザインし、ホテル海側の先端には、航海の安全を祈る「みちびきの像」が設置されています。

『みなとみらい21事業』におけるリーディングプロジェクトとして、1991年に開業。「観光・MICE・創造都市 よこはま」のMICE拠点となっており、政府系会議APECやTICADが開催されました。国際会議の開催においては、国内トップの実績があります。



※ MICEとは  
Meeting(企業ミーティング)、Incentive Travel(報奨・研修旅行)、Convention(国際会議)、Exhibition/Event(展示会/イベント)などのビジネスイベントの総称。